

利根川・江戸川流域治水プロジェクト【ロードマップ・効果（案）】利根川下流区間

～我が国の社会経済活動の中枢を担う首都圏を抱える関東平野を守る抜本的な治水対策の推進～

- 利根川下流区間では、国、県、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
 - 【短期】 堤防整備、河道掘削等を行い、国においては押付防災ステーションを完成させる。
 - 【中期】 堤防整備、河道掘削等を引き続き推進しつつ、国においては無堤部の堤防整備を完成させる。
 - 【中長期】 堤防整備、河道掘削等を実施し、流域全体の治水安全度向上を図る。
- あわせて、流域の特徴を踏まえた流出抑制対策（調節池・校庭貯留、雨水貯留浸透施設等）、内水氾濫対策（排水ポンプの整備、排水機場の耐水化等）、土地利用や住まい方に関する対策（防災指針を反映した立地適正化計画の作成等）の流域における対策を実施。
- 簡易水位計、簡易カメラの設置、防災無線のデジタル化、水害リスク空白域の解消、洪水ハザードマップ、避難確保計画等のソフト対策を実施。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	堤防整備	国・県	無堤部の堤防整備		
	河道掘削等	国・県			
	流出抑制対策	県・市町	防災調節池・校庭貯留、雨水貯留浸透施設、農業用ため池		
	内水氾濫対策	国・県・市町	排水ポンプの整備、排水機場の耐水化		
被害対象を減少させるための対策	土地利用や住まい方に関する対策	県・市町	防災指針を反映した立地適正化計画の策定、浸水防止対策の助成		
			水害リスク空白域の解消		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水災害リスク情報の充実	国・県・市町	洪水ハザードマップ、まるとまちごとハザードマップ推進、避難確保計画の策定		
	避難体制等の強化	国・県・市町			
	情報通信の強化	国・県・市町	簡易水位計、簡易カメラの設置、防災無線のデジタル化		

